町政を問う

一般質問

9月定例会

早樋 徹雄 議員

Q 中山間地域総合整備事業の見通しは

飯石地区県営中山間地域総合整備事業の進捗状況と今後の見通しについて問う。

この事業は総事業費18億円、平成27年度から32年度の6ヵ年計画で、本年度3年目を迎える。

町道の9路線がこの農道整備事業で整備するよう計画されており、また、暗渠排水、用水路整備事業などは受益者負担が1割であることから、関係者の期待も大きなものがある。

現状は、国の予算配分もあると思うが、事業が思うように進んでいないと感じる。

平成32年度までの6ヵ年計画ではあるが、予算の状況から期間の延長はあるものと聞いているが、見通しはどうか。

A 事業の推進に努力

町長 山碕 英樹

事業期間から見た進捗率は今年度末で半分となるが、事業費からみると総事業費18億円に対し6億円となる見込み（進捗率33%）。内訳は、営農飲雑用水施設が74%、農道整備が15%。今の予算配分が続くと、完成は4年程ずれ込む恐れがある。

この状況を打破するために、いろいろな機会をとらえ、積極的に国・県に対し予算確保の要望をしてきた。今後も、島根県と協働し、事業の推進に努力する。

カントリーエレベーターに続く道

Q 行政組織機構の見直しを

平成17年には業務の円滑な移行のため10課3室だったものを、平成18年4月には7課体制にした。現在は福祉事務所を含め8課1室である。

今後さらに行政改革を推進し、効率的な行政運営をしていくためには、合併後職員も大幅に少なくなっており、課の統廃合など、組織機構の見直しが必要と思うがどうか。

A 状況を見ながら検討

町長 山碕 英樹

現在の組織は、平成27年の行政改革に関する答申をベースにしており、答申には、「行財政運営の見直し」、「住民と行政の協働システムの確立」、「地域主権に対応した行政システムの構築」を柱にしている。

指摘の見直しは今直ぐにとは考えていない。状況を見ながら検討する。

庁舎内風景

DEBATE

討論

平成29年度飯南町一般会計補正予算（第2号）

琴引スキー場第2リフト減速機の経年劣化による修理。費用は1000万円。
赤来中学校の灯油地下タンクを地上式に置き換える。費用は286万円。

反対討論　伊藤 好晴 議員

「減速ギア」を特注するのみで、「減速機」を新品にするという検討はなかった。他の施設も寿命がくる。壊れるたびに高額負担を強いられるのではないか。

来年の業務委託料から500万円を差し引くことになっているが、きちんとメンテナンスできるのか疑問だ。

赤来中学校地下灯油タンクは、平成25年に高精度油面計が取り付けられ、10年間寿命が延長された。地上タンクに換えることを提案したが、そのまま設置された。

設置にかかる予算額もタンクの価格を考えれば釈然としない。

賛成討論　門 眞一郎 議員

修繕費は、業務委託契約に基づくもの。指定管理契約が本年度末までとなっており、やむを得ずこのような予算措置をしたものだ。

灯油タンクの設置費は、施工段階で適切な管理がなされ処理されるので、賛成だ。

紅葉の森林セラピーロード

平成29年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

国民健康保険料を引き上げ、予算を1045万円余増額する。

反対討論　伊藤 好晴 議員

〈国民健康保険料の引き上げは酷だ〉

国庫負担金を引き上げさせる運動を、町民と共に起こすべきだ。

町は一般会計を投入するなどして、負担軽減の措置を図るべきだ。

賛成討論　熊谷 兼樹 議員

制度改革に対し、国庫負担が後退しないよう、町と議会が一緒になって国に要望しなければならないが、柔軟に対応できる基金を確保しておくことは重要だ。

また、28年度は高額共同事業負担金の2分の1を一般会計から繰り入れ、基金の取り崩しを300万円弱に圧縮している。

[9月定例会]　全14議案のうち、反対があった議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	伊藤好晴	瀧尻行雄	門眞一郎	熊谷兼樹	内藤眞一	早樋徹雄	高橋英次	景山登美男	安部丘
平成29年度飯南町一般会計補正予算（第2号）	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成議員　●反対議員

決算審査特別委員会を設置

平成28年度飯南町各会計の歳入歳出決算を審査するため、
決算審査特別委員会を設置しました。

委員長　内藤　眞一　　副委員長　景山登美男

委員　伊藤　好晴　　委員　瀧尻　行雄　　委員　高橋　英次　　委員　安部　丘